

ドライバースプリーフィング資料

1. 審査委員会紹介：審査委員長：野尻 隆幸・審査委員：吉川 寛志
2. 競技役員紹介：①競技長：陰地 哲雄 ②コース委員長：山本 智宏 ③技術委員長：河合 正好
④計時委員長：川端 竜史 ⑤パドック委員長：東 晃司 ⑥救急委員長：上野 浩
⑦事務局長：吉川 直美

3. 競技説明

【競技長より】

- ① 公式通知は掲示板（ABコースコントロールタワー前）にて、ご確認をお願い致します。
- ② 本日の欠席者はゼッケン **当日発表** です。
次に走行される方は注意して走行準備をお願い致します。
- ③ 出走は終日ゼッケン順の通りとします。本日、ゼッケン **1番～102番**までがチャンピオン、**103番～162番**までがミドルになります。
- ④ 車体外部にカメラを取り付けての走行は禁止です。またGPS（ロガー）装置は走行中に取れないよう、しっかりと固定してください。
- ⑤ 出走前には今一度ホイールナットの締め付けを確認するようお願いいたします。
- ⑥ Cコースパドックからスタート地点までは最徐行で移動して下さい。プレーキテスト（サイドブレーキ含む）はしないで下さい。尚、ABコースでの競技走行を終了してから各自のパドックへ戻る際も同様です。
- ⑦ **最終サービスラインは、名阪管理事務前に設定しています。最終サービスラインを超えての「割り込み」は禁止とし、間に合わない場合、当該コースは「不出走」の扱いとします。【必ず装備品もつけてください。最終サービスラインを越えたらすぐにスタートです。】**
- ⑧ 食堂裏での出走前待機（最終サービスライン前待機）は3台を目安とします。
最終サービスライン以降は3台の待機とします。（合計で6台の待機を目安）



- ⑨ 2ヒート目のゴール後に入賞者は技術本部前の再車検場でクラス終了まで保管します。オフィシャルの誘導に従ってください。ゴール後は下車して観戦できますが、技術本部のエリアには立ち入りしないでください。
- ⑩ コーステープ（規制線）を張っている場所は立ち入り禁止です。絶対立ち入りしないようお願いします。
- ⑪ テントを張っている方は、風で飛ばないようにオモリを設置などの対策を取って下さい。
- ⑫ 貴重品は各自で保管をお願いします。
- ⑬ お子様をお連れの方は、お子様が単独で行動しないような保護の徹底をお願いします。特に坂道は危険なため、絶対に目を離さない様お願い致します。
- ⑭ Cコースコントロールタワー2階とコース脇プレハブ小屋、屋根下のパドックは開放してあります。荷物置き、休憩や食事などにご利用ください。なお、ゴミは各自でお持ち帰りくださいますようお願いいたします。
- ⑮ インターバルは**チャンピオンシリーズとミドルシリーズの間に15分程度とる予定**です。
- ⑯ 本日は **Dコースでドリフト練習会、Eコースでもイベント**が行われます。本イベント以外の車両が通行いたしますので、スムーズな通行への配慮をお願いいたします。
- ⑰ **表彰式は各クラスの正式結果が発表となり次第、順次食堂内**で行います。
アナウンスに注意して頂き、速やかに集合していただきますようお願いいたします。**※全クラス纏めての表彰式ではありません。**
- ⑱ **車検後の車両整備（タイヤ交換など以外）は車両整備の申告が必要です。技術本部（ABコースピット屋根下かCコースの技術出張テント）まで申し出てください。**
- ⑲ **再車検終了後に30分経過し、車両保管解除の放送があるまでタイヤ交換や荷物積み込みなどの作業はできません。**
また、ご帰宅いただけるのは車両保管解除後になります。

⑳ 帰宅時は場外に出るまでに必ずゼッケンを外してください。

㉑ 給油時は消火器の準備が必要です。消火器は技術本部またはCコース技術出張テントで貸し出ししております。

【コースより】

- ① 車両トラブルの場合は速やかに窓から手を上げてリタイヤの意思をアピールして下さい。
オフィシャルの指示に従いコース外へ移動をお願いします。
※不動の場合は、けん引等で移動させて頂く場合があります。
- ② コース図の 1 番から 番の数字が入ったパイロンがペナルティの対象となります。（※コース図は当日発表します）
- ③ コーナーイン側に設置のタイヤ、コーナー立ち上がりアウト側のクラッシュパットはペナルティ対象外ですが、車両破損及びコース上に砂利等の散乱を防ぐ目的で設置しております。尚、タイヤやクラッシュパットの設置の有無にかかわらず、タイヤのトレッド面の全てがコースからはみ出たと判断した場合は、通常通り 1 輪につき + 5 秒のペナルティとなりますのでご注意ください。
- ④ 路面に砂利等が散乱した場合、清掃作業を行うため、競技を一時中断させて頂く場合がございます。
- ⑤ パイロンペナルティが発生した場合、安全に復旧作業できる場合は実施しますが、オフィシャルの安全上問題がある場合は復旧しません。
大きくパイロンが移動した場合は、元の位置にパイロンが存在すると仮定して走行して下さい。
- ⑥ **走行中にパイロンの咬み込み等で危険と判断した車両は、赤旗停止、DNFとします。**
- ⑦ **ミスコース判定は誤ったコース（パイロン）に車両 1 台分が進入した時点とし黒旗を提示します。**
オフィシャルの指示に従ってパドックへお戻り下さい。
- ⑧ 再出走車に対しては、概ね 10 台後に再スタートします。その際、オフィシャルの指示に従って再出走の準備をお願いします。
- ⑨ GOALライン通過後は、コース図通りに速やかにコース外へ退出ください。
- ⑩ W エントリーの前走者は走行終了後、オフィシャルの指示に従って指定場所でドライバーの乗り換えをお願いします。
対象はゼッケン 3 と 106、32 と 83、35 と 47、36 と 67、37 と 102、87 と 99、79 と 91、125 と 138、130 と 141 です。
同一クラス内で W エントリー以外の方は一旦、自分のパドックにお戻りください。

【スタート旗振り後 速やかなスタートをする】

【技術より】

- ① 再車検は第 2 ヒートゴール後、上位 3 台（表彰対象が 2 位までの場合は 2 台）を AB コース再車検場（屋根下）にて実施します。
再車検対象者以外はパドックへ帰ってください。
- ② 各クラスで第 2 ヒート終了後から正式結果が発表されるまでは、パドック内で対象クラスの全車が車両保管となりますので、車両整備等はしないで下さい。
- ③ **車両整備申告書は技術本部（AB コースピット屋根下）、不出走・リタイヤ届は事務局（食堂）**で受付になりますので、必要な場合は必ず提出して下さい。
- ④ C コース上で油類等がコース上に飛散する可能性のある作業をされる場合、技術本部に申告の上、指定の場所へ移動頂き作業をお願いします。※Cコース路面保護のため

【パドックより】

- ① パドック内の通行は徐行にてお願いします。一部、通路が狭くなっている箇所もありますのでタイヤや荷物で通路を塞がないよう気をつけてください。
- ② **食堂裏の待機場所は一般車両の通行があります。車両の離合ができるよう待機してください。**
- ③ パドックでの呼び出しは原則ありません。進行に注意してください。放送や周りの動きに注意するとともに周りでの声掛けを行ってください。
- ④ **最終サービスラインまでに、ヘルメット、グローブ等を装着しておいて下さい。ライン通過後、直ぐのスタートとなります。**

【事務局より】

- ① 本日は食堂で飲み物（ガイドドリンク様提供）と豚汁（11：00～）を用意しております。数に限りがありますので希望者はとりに来て下さい。

以上